

提出された意見及びそれらに対する考え方

該当箇所	提出された意見	意見に対する考え方
4 その他(1)	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な記載の中に、国民に身近な環境なので研究計画書の中に、国民にわかりやすく注釈などを付けてほしい。可能であれば研究機関を公表してほしい。 	賛同意見として承ります。頂いた御提案については、今後の施策の参考とさせていただきます。
別添 1 (5) 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 小児の腫瘍性疾患について適切な解析方法→小児の両親の育った生活環境の聞き取りも可能な範囲でお願いしたい。別添 1 の課題で解決されるのであれば、聞き取りは実施しなくてもよい。 	
別添 2 (4) 検討課題	<ul style="list-style-type: none"> 結果に伴い、平行して生態への影響の軽減する治療チームも結成してほしい。 家庭にあるパソコン、携帯電話について詳しく知りたい。 	
別添 3 (4) 検討課題	<ul style="list-style-type: none"> 免疫と食物を摂取した後の関係についても検証をお願いしたい。 	
研究課題に関する意見	<p style="text-align: right;">【個人】</p> <p>公開された研究のほかに、以下の研究も行うことを提案します。 必要な研究テーマ：メガネなどの金属を着用した場合のSARの変化に関する研究 以下に示す相反する結果を示す研究がある。 夫々学会口演レベルのもので詳細は不詳。 相反する結果なので、きちんとした研究が必要と思います。</p> <p>1. メガネをかけた場合の眼球のSARの違い 2007年の研究 掲載誌：平成19年度電気関係学会東北支部連合大会 タイトル：メガネをかけた人体全身モデル内眼球の斜入射マイクロ波のSAR特性 研究者：小林 誠ら</p> <p>概要 この研究では、成人眼球内のマイクロ波SAR特性へのメガネと斜入射の影響について、米国VHP(VisibleHuman Project)の解剖学的全身モデルを用いて解析した。 メガネ(導体フレーム付ガラス凹レンズ)をかけた成人全身近似モデルとかけないモデルで数値解</p>	賛同意見として承ります。研究課題については、有識者からなる「生体電磁環境に関する検討会」等において研究を進める必要があるとして示された研究課題を選定しております。頂いた御提案については、今後の施策の参考とさせていただきます。

析を行った。

周波数は 1.5GHz と 900MHz ろし、マイクロ平面波で曝露されたメガネ近傍の成人眼球内 SAR 分布を検討した。

結果は、メガネの有無によらない。どの方向から電波が来るかという入射角の依存は大きいことがわかった。

2. メガネをかけた場合の眼球のSARの違い 1997年の研究

掲載誌：1997年電子情報通信学会総合大会

タイトル：金属装身具を装着した人体頭部モデルの電磁界シミュレーション

研究者：福田正樹、小暮裕明ら

概要：

解析により電磁界、電力、エネルギー密度等の分布を得た。

何もつけていないモデルに比較し、メガネモデル（完全導体による金属とした）は金属フレーム周辺の電界強度やエネルギー密度分布が上昇すること、ヘルメットモデルはヘルメットが電磁波の頭部侵入をかなり遮断することなどがわかった。金歯モデルでは大きな変化は特になかった。

また眼球部に注目し、目の中心部だけの SAR の比較を行った。

SAR 値は入射電力密度を ANSI 基準である $5.0\text{mW}/\text{cm}^2$ としたときの換算値として以下に記した。

眼球中心における SAR 値（1.5GHz、平面波曝露）

基本モデル：4.93W/kg

メガネ着用：8.89W/kg

ヘルメット着用：4.23W/kg

金歯着用：4.84W/kg

メガネの着用によって眼球での SAR は 2 倍になっている。

【個人】